

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11290

平井複合館資料室設置準備事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	平井複合館資料室設置準備事業		

事業種別	継続		関連個別計画	平井複合館基本構想		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	洲崎 敬一郎 435-1194
事業実施の根拠法令			関連課	人権同和施策課 子育て支援課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	平井地区に設置予定の平井複合館内に、発見された埴輪窯のレプリカを展示し、歴史学習の場とする。		平井地区に設置予定の平井複合館内に、発見された埴輪窯のレプリカを展示し、歴史学習の場とする。			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	平井複合施設内に埴輪窯剥ぎ取り模型を展示する。施設全体の実施設計業務実施。	平井複合館設置に係る3課(人権同和施策課・子育て支援課、文化振興課)で今後の事業費総額を関連面積割合で負担する。	平井複合館設置に係る3課(人権同和施策課・子育て支援課、文化振興課)で今後の事業費総額を関連面積割合で負担する。	平井複合館設置に係る3課(人権同和施策課・子育て支援課、文化振興課)で今後の事業費総額を関連面積割合で負担する。また、埴輪窯のレプリカ等の展示物を作成する。	平井複合館設置に係る3課(人権同和施策課・子育て支援課、文化振興課)で今後の事業費総額を関連面積割合で負担する。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	5,114	3,993	8,503	5,956	29,819	12,208	91,898	0	91,898	0
伸び率(%)	0%	0%	66.3%	49.2%	250.7%	105%	208.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,356	1,356	1,599	1,679	1,853	1,853	2,095	0	2,095
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,356	1,356	1,599	1,679	1,853	1,853	2,095	0	2,095
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	9,125	0	9,125	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	366	0	366	0
市債	4,600	3,500	7,600	5,300	26,800	10,900	80,400	0	80,400	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	514	493	903	656	3,019	1,308	2,007	0	2,007	0
所要人数(人)	正規職員	0.17	0.17	0.20	0.21	0.23	0.23	0.26	0.00	0.26
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	工事請負費 8,503千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
平井複合施設建設関連事業		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
平井複合施設建設関連事業		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	文化会館や児童館の機能をもつ複合施設内に地域の歴史を紹介する資料室を設置する意義は大きい。
見直し・改善内容	地域の住民が利用しやすい状況になるよう、意見を反映させながら進める。